

日本最古と言われる歴史を誇る道後温泉を舞台に、
新たな地域活性化プロジェクトがスタートします。

「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」

事業期間：2021年5月～2024年3月31日



「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」シンボルデザイン

古くは日本書紀にも記されている日本最古の温泉「道後温泉」を舞台に、2014年に開催された「道後オンセナート2014」を皮切りに、道後温泉地区ではさまざまなまちづくりアート事業が継続実施されてきました。この度、進行中の道後温泉本館の保存修理工事の後期工事に合わせ、2021年から2023年度までの3年間、新たな活性化事業「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」がはじまります。

アートを媒介にしたまちづくり事業の企画プロデュースを手掛ける、スパイラル/株式会社ワコールアートセンターは、本プロジェクトを道後温泉地区で活動をする地元団体や大学、金融機関、行政などからなる「未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会」とともに、道後温泉地区が三千年におよぶ歴史が育んだ豊かな地域資源を磨き上げ、100年先まで輝き続ける持続可能なまちづくりを推進します。

2021年度は、来年度以降に予定されている「道後オンセナート2022」（2022年実施予定）「国際クラフトフェア（仮称）」（2023年実施予定）に向けて「地熱づくり」をコンセプトに、道後温泉のPR・観光振興に役立つ人材の発掘、地域の活力形成を担う関係人口の構築、アートを用いた集いの場の設計を行ないます。

「stay hot, stay creative」をコンセプトに、アート×人×温泉の熱量で、道後温泉地区から日本を、そして世界を温める本プロジェクトの今後にぜひご注目ください！

■事業概要

みんなの道後温泉 活性化プロジェクト

事業期間：2021年5月～2024年3月31日

展開場所：道後温泉エリア全体

主 催：未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会

企画プロデュース：スパイラル/株式会社ワコールアートセンター

URL: <https://dogoonsenart.com>

■スパイラルは、本プロジェクトの企画プロデュースを行なっています。

■掲載に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報 金子朱

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL. 03-3498-5605

E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

spiral.

2021 年度の主なプログラム

□ 道後温泉本館 × 大竹伸朗

道後温泉本館の素屋根テント膜に、愛媛県宇和島市を拠点に創作活動を行なう世界的美術家 大竹伸朗の作品がプリントされ、道後温泉地区のシンボルとして展開されます。

作品設置期間：2021 年 12 月下旬—2024 年 12 月（予定）

作品設置場所：道後温泉本館

アーティスト：大竹 伸朗



Photo by shoko

大竹 伸朗（おおたけ しんろう）

1955 年東京生まれ。1980 年代初頭より国内外で作品発表を開始。1988 年に制作拠点を愛媛県宇和島市に移し、絵画を中心に音や写真、映像を取り込んだ立体作品、エッセイ・絵本など多彩な作品を展開。2019 年にはパフィオ宇和島、生涯学習センター・ホールの緞帳「のぞき岩」が完成。「東京 2020 公式アートポスター」の制作アーティストに選出。2022 年 3 月ホノルルトリエナーレに参加予定。

□ 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭 × 蜷川実花

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭を様々なアートが彩る「ハダカノヒロバ」が登場します。2021 年度は、写真家・映画監督の蜷川実花の作品を展示予定。なお、この中庭は様々なイベントが催されるフリースペースとしても活用されます。

作品設置期間：2021 年 9 月 24 日（金）—2024 年 2 月 29 日（木）

作品設置場所：道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭

アーティスト：蜷川 実花 ほか



蜷川 実花（にながわ みか）

写真家、映画監督。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映画『さくらん』（2007）、『ヘルタースケルター』（2012）、『Diner ダイナー』（2019）、『人間失格 太宰治と3人の女たち』（2019）監督。Netflix オリジナルドラマ『FOLLOWERS』が世界 190 カ国で配信中。映像作品も多く手がける。



【参考】「道後オンセナート 2014」（左）道後温泉本館 エントランス陣幕（右）提灯ゲート ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama

□ 振鷺亭 × 隅川雄二

道後温泉本館の東側に建つ「振鷺亭（しんろてい）」では、工事の情報発信がされるとともに、松山市在住のアーティスト隅川雄二による、だまし絵の技法を活用した歴史絵巻はユニークなフォトブースとしてもお楽しみいただけます。

作品設置期間：2021年9月24日（金）—2024年2月29日（木）

作品設置場所：道後温泉別館 飛鳥乃湯泉中庭

アーティスト：隅川 雄二



隅川 雄二（すみかわ ゆうじ）

up to you 主宰、イメージビルダー。

イメージを二次元化し、作り上げるテクニカルイラストレーター。

このほか、公募形式のクリエイター滞在プログラムや地域の子どもたちによる夜市企画などの企画が盛りだくさんです。詳細は公式ホームページをご覧ください。https://dogoonenart.com

シンボルデザイン



DOGO
STAY HOT STAY CREATIVE

「ギヤマンレッド」を基本色にしたデザインを、多彩な形で展開

グラフィックデザイナー 小林一毅によるシンボルデザイン。「道後の地熱は、人の熱」というデザインコンセプトに沿い、道後温泉地区に関わる「人」をユーモラスに描いた泡のように変幻自在な顔が、ロゴ、ポスター、看板、マップなどで多彩に展開されます。基本カラーは道後温泉本館の神の湯の塔屋にあたる振鷺閣（しんろかく）の赤いギヤマンガラスを基調とした「ギヤマンレッド」とし、使用シーンにより様々に変化し、街を彩ります。このデザインは3年間を通し使用されます。



小林一毅（こばやし いっき）

グラフィックデザイナー。

1992年滋賀県彦根市生まれ。2015年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。資生堂クリエイティブ本部を経て2019年に独立。東京TDC賞、JAGDA新人賞、日本パッケージデザイン大賞銀賞、Pentawards Silver受賞。